

なるお塾 第4回 在宅看取り

最期まで自分らしく生きるために私たちにできることは？

日時：令和5年9月21日（木）18時00分～20時00分

場所：明和病院 南館5階 明和ホール 参加者：48名

講師：看護小規模多機能居宅介護 うさぎの丘 鈴蘭台 管理者
緩和ケア認定看護師 藤原志寿子先生

看取りとは？

1人の人間として尊厳を保ち、その人らしい死を迎えることができるよう
家族と共に援助する。

コロナの影響で中止していましたが「在宅看取り」の研修が3年ぶりに開催
することができました。

人生の最終段階を過ごしたい場所として自宅が72% 医療機関19%に対し
実際の死亡場所は自宅が12% 医療機関78%です。

希望しても自宅で最期を迎えることは難しいのでしょうか？



アンケートから

「誰しも訪れる最後の時間を一緒に寄り添える看護師になりたいと思った」

「あなたに会えてよかった」と言ってもらえるケアマネになれるよう頑張ります

「叶えることは出来なくても支えることは出来る」とご参加頂いた皆さまにとって
学びの多い研修になったのではないかと思います。

誰でも訪れる最後の時に関われることに誇りを持ち、出来ないと考えるのではなく
「出来ること」を考えることが大切だと学びました

藤原志寿子先生、ご参加頂いた皆さまありがとうございました。